

第4次益田市食育推進計画（案）に対するパブリックコメントの結果について

1. 実施期間 令和6年1月5日（金）から1月25日（木）まで
2. 募集方法 郵送、ファックス、電子メールまたは子ども家庭支援課に直接持参
3. 公表場所 益田市役所、益田市立保健センター（EAGA 内）、美都・匹見分庁舎、各公民館、市公式ウェブサイト
4. 意見者数 1名
5. 意見件数 4件

「第4次益田市食育推進計画」（案）に対するパブリックコメントを実施した結果、次のよう
なご意見をいただきました。

いただいたご意見の概要及びそれに対する市の考え方は次のとおりです。

	項目	意見要旨	市の考え方
1	第2章 益田市の食育の現状と課題 P10	<p>特定健康診査の説明に、「また、2018年4月より歯科口腔の保健指導や歯科医院への受診勧奨の端緒となるよう、特定健康診査の標準的な質問票に咀嚼に関する項目が追加されました。」を追加する。</p> <p>かみにくい、あるいはほとんどかめない場合には、穀類（米・パン・麺など）の摂取増加、野菜・肉・魚介類の摂取低下を招くことが示唆されており、栄養バランスが崩れている可能性があります。また、しっかりかめないことが過食につながる可能性も示唆されています。歯科医院での咀嚼能力の適切な評価と咀嚼能力の回復そして栄養指導との協働により栄養バランスの改善が期待できます。この一文を追加することによりメタボリックシンドローム対策には歯科との連携も必要であることが伝わると考えます。</p>	<p>【ご意見を参考に、計画案の修正を行います】</p> <p>メタボリックシンドローム対策には歯科との連携も必要であるため、説明を追加します。</p>
2	第3章 食育推進のための施策展開 P34	<p>「家庭で」の項目に、「定期的に歯科医院を受診する習慣を身につける」を追加する。</p> <p>歯を失う大きな原因は歯周病とむし歯の進行によるものです。これらが進行してから歯科医院を受診する場合には歯を失うリスクが高まることが示唆されています。定期的に歯科医院を受診することで歯周病・むし歯の予防と重症化を予防し、歯を失うリスクを軽減することが期待できます。子どものころからのセルフケアと同時に、歯と口の健康のための受診行動の習慣づけが重要であると考えます。</p>	<p>【ご意見を参考に、計画案の修正を行います】</p> <p>歯科疾患の予防、重症化の予防のためには、セルフケアと定期受診を子どものころから習慣づけ、継続することが重要であることから、計画に反映させます。</p>

3	<p>第3章 食育推進のための施策展開 P34</p>	<p>「保育所・認定こども園・幼稚園・学校で」の項目に、「かかりつけ歯科医を持ち定期受診することの重要性を理解しこれを行うことをすすめる」を追加する。</p> <p>食育基本法の第十一条には、教育関係者等に対して「食に関する関心及び理解の増進に果たすべき重要な役割にかんがみ、基本理念にのっとり、あらゆる機会とあらゆる場所を利用して、積極的に食育を推進するよう努めるとともに、他の者の行う食育の推進に関する活動に協力するよう努めるものとする。」と、その責務が明確にされています。また、益田市食育推進計画の指標と目標数値には「定期的に歯科医院に行っている人の割合」が掲げられています。食育推進に向けての地域の目標を教育関係者等から発信することが求められているとともに教育関係者等の分野間の密接な協力関係の構築も必要であると考えます。</p>	<p>【ご意見を参考に、計画案の修正を行います】</p> <p>食育推進に向けては行政、地域、教育関係者等の各分野がそれぞれの役割を持って、協力しながら活動を進めていく必要があるため、計画に反映させます。</p>
4	<p>第3章 食育推進のための施策展開 P34</p>	<p>「地域で」の項目「高齢者の低栄養を防ぐ」を以下の文、「高齢者のオーラルフレイル（口の働きの低下）や体重の低下等に気づき低栄養を防ぐ」に修正する。</p> <p>オーラルフレイルは身体的フレイルを引き起こす要因として口腔機能の維持・向上の重要性を啓発することを目的として提案された概念であり、口腔機能の脆弱状態（フレイル）を意味します。口腔の機能である咀嚼、嚥下、構音は生命の維持とコミュニケーションには欠かせない機能です。高齢者の低栄養を防ぐためにはオーラルフレイルや体重低下、あるいは社会への参加頻度の低下等の早期の気づきとその対応が重要です。高齢になっても住み慣れた地域のなかで健やかで安心・安全な食生活を送るための重要な視点のひとつを明確にできると考えます。</p>	<p>【ご意見を参考に、計画案の修正を行います】</p> <p>高齢者の低栄養と口腔機能、健康状態には密接な関係があり、オーラルフレイルについての普及啓発も必要であるため、ご提案のあったとおり文章を修正します。</p>